

ふたなり  
魔女の森





唯一その病気に効くとされる  
薬草を採取しようと  
魔の森へと足を踏み入れた…



奇病に冒された  
恋人のアイナを救うため



随分奥まで  
入ってきちゃったな…

この青年の  
名はデーム



一刻も早く  
この森から離れたい

噂によると恐ろしい  
魔女が棲んでいるとか…

これだ！

珍しい  
ですね

こんなところに  
人間が来る  
だなんて

いつぶり  
でしょう

…!!  
魔女!?

何者ですか  
あなたは？



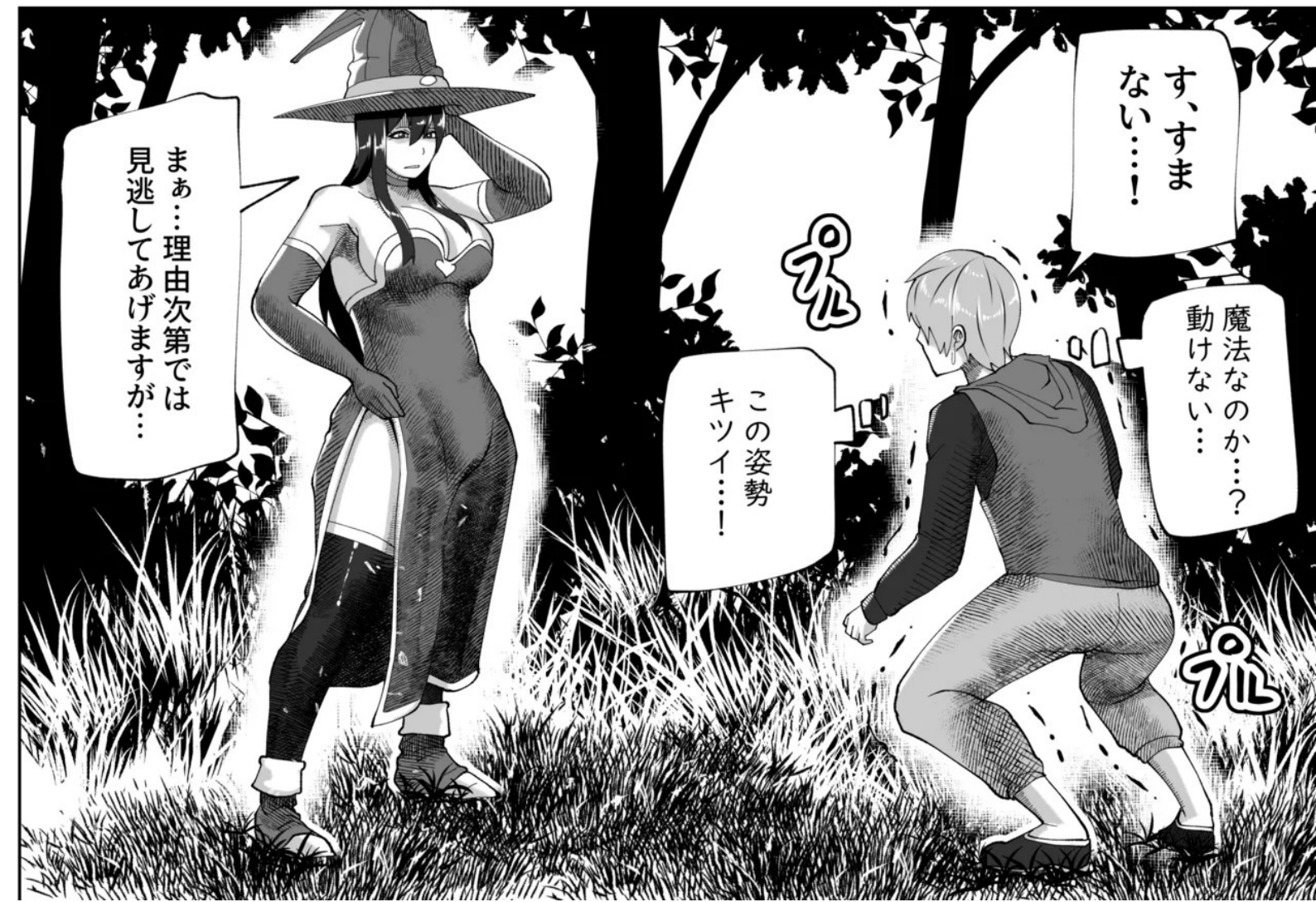


この森は  
私の土地…

勝手に  
侵入されては  
困りますね



俺はデイルム、  
訳があつて森に  
入らせてもらった…



す、すま  
ない…！

魔法なのか…？  
動けない…

この姿勢  
キツイ…！

まあ…理由次第では  
見逃してあげますが…

例えばあなたが  
とても物好きで

私に求婚するため  
ここへ来た

…とか

…薬草が必要なんだ…  
恋人が奇病で苦しんでいる



…下らないですね…  
リア充が一番キラライです

…ですが…  
今丁度男性の  
協力が必要です  
しています

素直に  
手伝うのなら  
あなたの望みを  
叶えることも  
やぶさかでは  
ありません

それでは  
ついてきて  
ください

あの、その前に  
魔法解いて…

な…何を  
すれば…？

やっべ



魔女宅

私はミフォン、世間的には  
魔女と恐れられています

悪意を持って誰かに  
危害を加える  
なんてことはしません

むしろ様々な薬を  
開発し人の世に  
貢献しています

今回協力を  
仰いだのも  
その一環

だとしたら  
何故恐れられ  
てるんだ…？

単刀直入に  
申しますと

男性の精液が  
欲しいのです

は…？





あなたは  
ただ情けなく  
ヨガってなさい



それなりに  
男性を悦ばす  
術は持っています

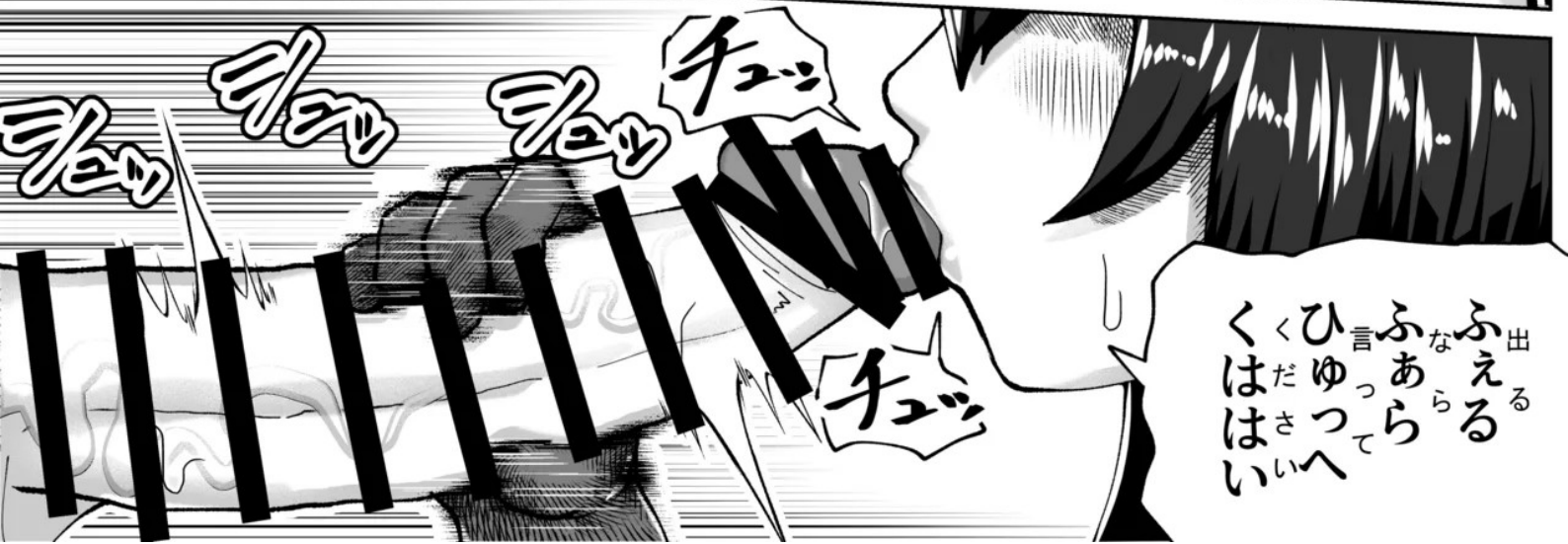


これは仕方なく…  
きつとわかって  
くれると…

くく…  
彼女が見たら  
どう思う  
でしょうね？



さて…  
そろそろ  
ですか？



出る  
ふる  
ふ  
なる  
ふ  
言  
ひ  
く  
は  
は  
は  
い  
く  
は  
は  
い  
ひ  
だ  
さ  
い  
ゆ  
つ  
て  
あ  
ら  
う

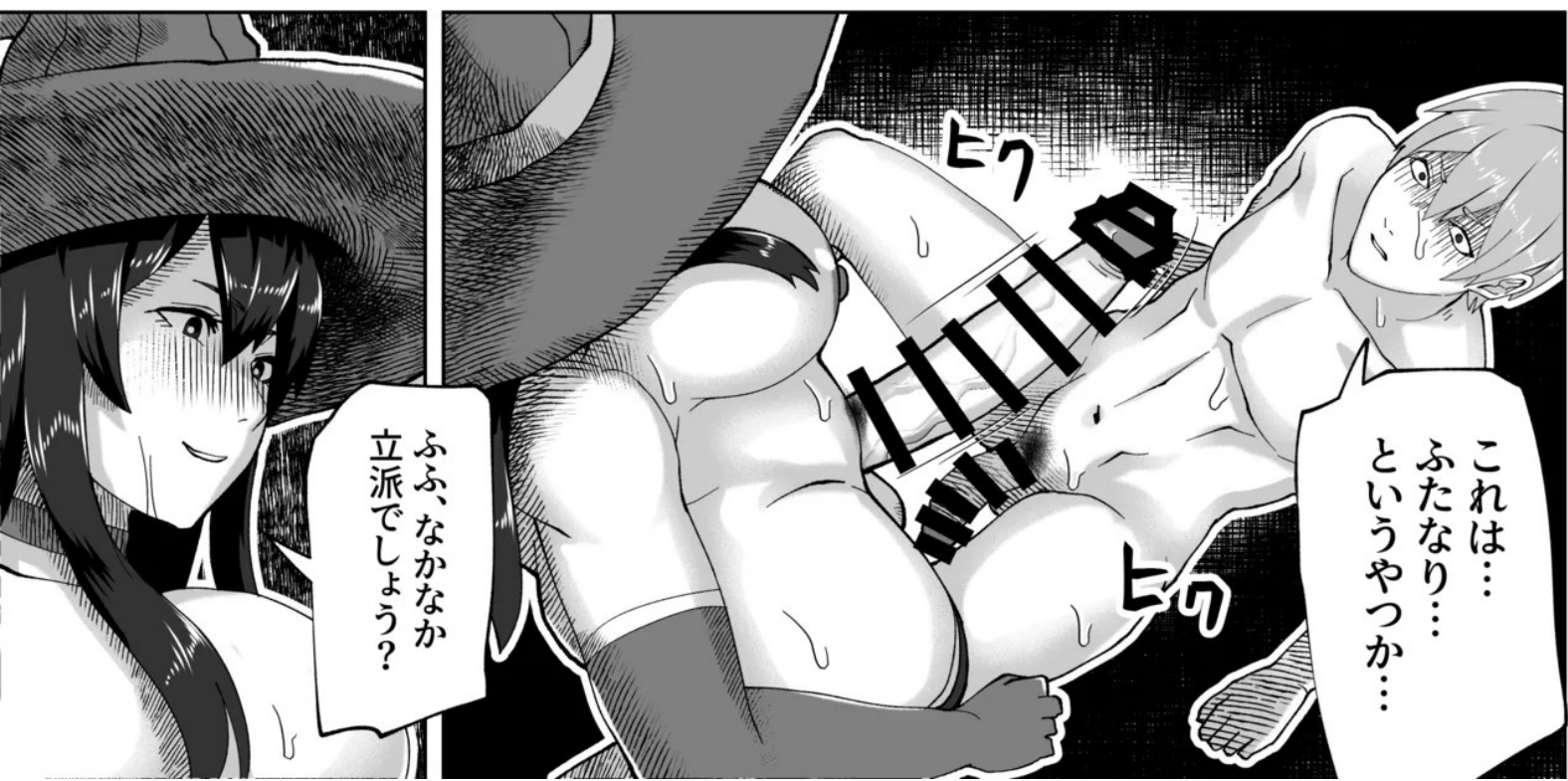




次はそちらも  
一緒に  
採取します

ブキ

ええ、それに調合に  
必要なものは  
これだけではないので



ふふ、なかなか  
立派でしょう？

これは…  
ふたなり…  
というやつか？

あなたの精液と  
私の精液

そして薬草  
その他諸々を  
調合するのです

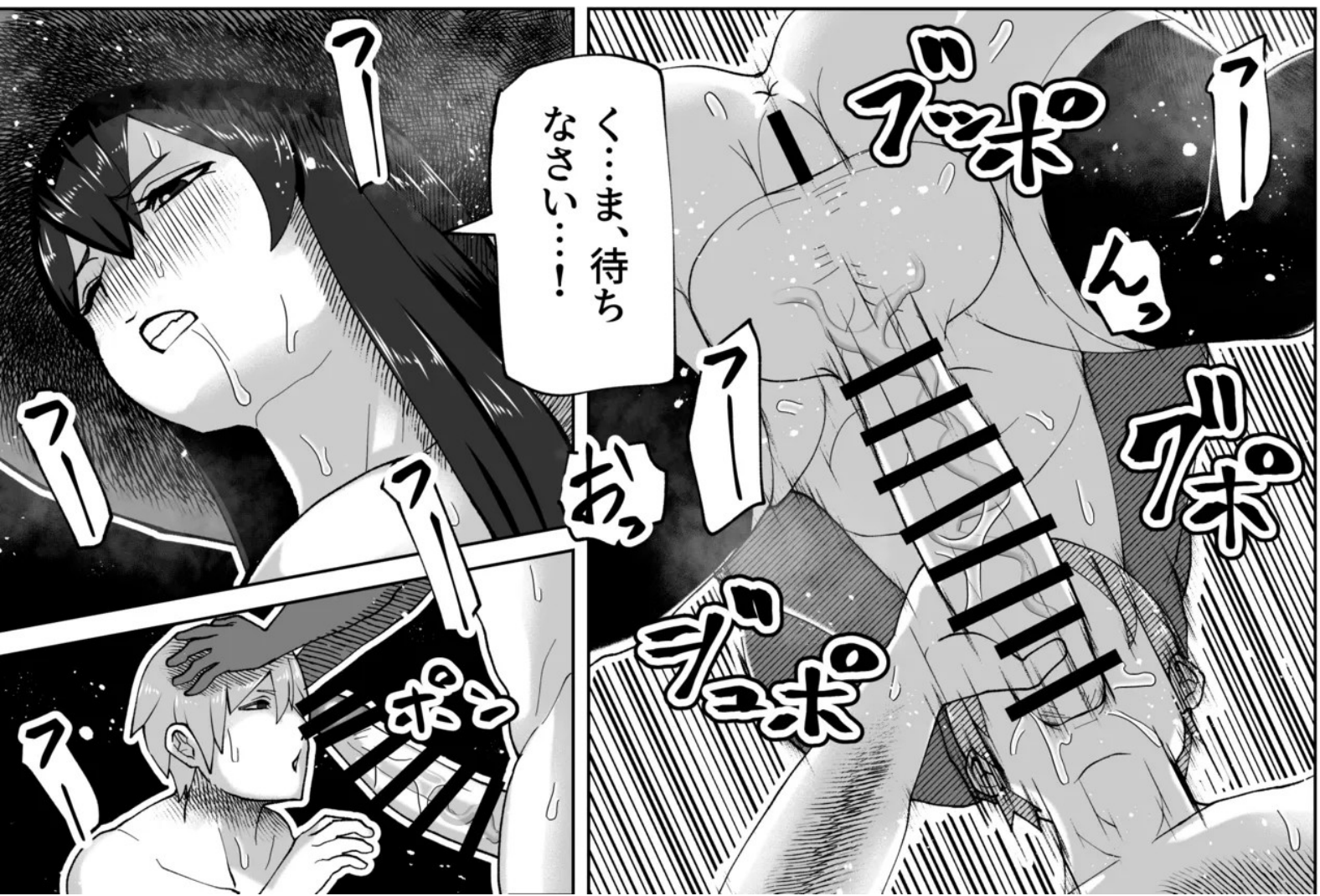
……  
!?

さあ  
舐めなさい……

マジかよ……

薬が完成すれば  
あなたにも  
分けてあげます

きっと彼女にも  
効くでしょう



予想外に  
うまいですね

暴発しそうになって  
しまいましたよ

でも暴発って…  
精液が要るんじゃ

焦らないで  
ください

ぎゅぎゅぎゅ

次はお互いに  
ゴムを付けましょう

ゴム……？





これで準備は  
整いました

ケツ穴に  
突っ込んであげます  
お尻を向けなさい

何!?



嘘だろ…  
さすがに  
それは…

なんですか  
さっきまで  
張り切っておフェラ  
してたくせに

おちんぽを  
しゃぶった時点で  
そのくらい覚悟は  
しておいてください

う…

おフェラ



私があなただを  
掘るので

ゴムの中に  
「ところてん」  
しなさい



言いまし  
たよね？

まだあなたの  
精液は  
足りてません



だったら…

そう、  
一石二鳥な  
わけです…!!



そして  
私もあなたの  
尻で果てます



ほう…  
それはあなたが  
この私を望んで  
犯すということ…

確実に  
浮気では？

それはそう  
かもしれない…



別に逆の  
立場でも  
いいんじゃない…

そっちのほう  
がまだ自然な  
気がするし…



しかし  
私がある  
あなたを  
犯す分には

不可抗力で  
浮気には  
ならない…

わかり  
ますよね？

…うん  
どうだろう…？



…いいから尻を  
向けなさい!

ド

ゴ

無意味な問答を  
している内に  
萎えてしまいます!

そもそもあなたに  
拒否権など  
ないのです

ちよつと  
待ってくれ!

尻にモノを  
挿れたことなんて…





ふん!

ん

ん

ん

ん

ん

ん



もっと良くなり  
なりますよ

どうですか?  
悪くない  
でしょう?

ん...

ん...

ん

ん

ん

存分に  
メスの気分を  
味わいなさい！



やはり肉穴は  
堪りませんね…



昔は森への  
侵入者へ制裁と  
称して

片っ端から  
ケツを犯した  
ものです

最近では恐れられて  
そんな機会も無く  
なってしまうました





その頃の  
制裁ファック  
でしたら

己の欲を  
満たすためだけの  
乱暴なピストンを  
キメるところですが



あなたは  
協力者なので  
気持ちよくなつて  
もらってます



私のおちんぽから  
あなたの体内へ

快樂魔法を  
かけているのが  
わかるでしょう？

開発もなしに  
いきなり飛び級  
覚醒ケツマンコですね

これから  
お尻でやるのが  
癖になってしまっ  
たかもしれません

責任は  
取りませんが





そんな表情カオ  
されたら…

もう我慢  
できません

ふふ…  
幸せそう  
ですね…

さあ  
あなたも…



……

イク……



終わった…  
のか…

ふふ…  
久しぶりに  
燃えましたよ…

こんなにも  
出ました…

あなたも  
二回目とは  
思えない量…

たぶん

では約束通り  
薬をお渡しします  
これを飲ませれば  
たちどころに病気は  
治るはずですよ

もし何か不都合が  
あればまた私の  
ところへ来なさい

熱も治まったし  
今の所効いてる  
ようだな…





どうだ  
調子は？



ん...

パチ

意外と良いやつだったな  
ミフォン...  
まあ恐れられている  
理由はわかるが...



フフフ...

次はデイムの彼女も  
交えて3P  
でしょうか...

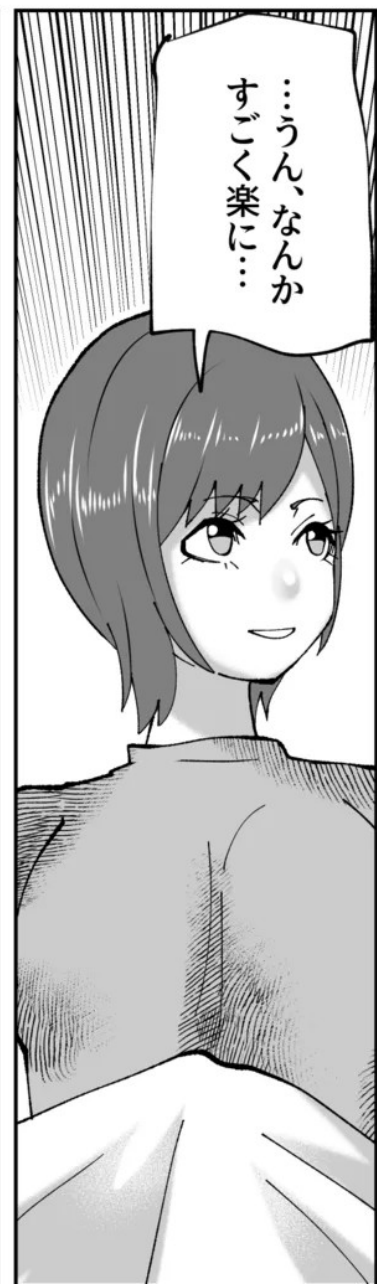
終



あれ...?

ぐも

下半身に  
違和感...が...



...うん、なんか  
すごく楽に...